

白井第二小学校区まちづくり協議会設立準備会第6回会議事録（概要）

- 日時：令和3年7月30日（金）午後7時00分から
場所：公民センターレクホール
出席者：小林正継会長、染谷敏夫副会長、小松正信副会長、山本敏伸事務局長、渡辺康夫広報、永井英明書記、川上利一書記、山崎正司（中）、酒井正男（中峠団地）川鍋敏夫（折立）森山光男（富塚）山本忠昭（白井工業団地）岡田純一（今井）山崎嘉秋（名内）山崎一之（平塚東）大井信幸（平塚西）小林清隆（高齢者クラブつくし会）伊藤忠昭（第二小）富澤好由・森山光男・滝田潔・山崎洋子（まちづくりプロジェクト）赤瀬幸子（おはなしの玉手箱）
岡田部長、市民活動支援課松岡課長、公民センター折山副センター長、中島、金井
欠席：川上達也（青少年相談員）福田孝一（民生員）海老原進（体験農園）
傍聴：平田新子
資料：①会議次第 ②取り組み事業出しシート ③凡例 ④第5回板書まとめ

小林会長挨拶

- ・前回会議で、3グループで話し合いまとめたが、他の分野について質問、意見がある方もいるということなので、前回言い足りなかったところや他のグループについて言いたいこと、感想などどんなことでも気づいたことを順番に伺いたい。

交通安全防災防犯

- ・前回の議論で意見が出尽くしたと思う、他の分野で花の街道づくりなど、すでにカナナ街道等やっているところもありできるのではないかな。いろいろなものを出ししい計画ができればよいと思う。
- ・交通安全防災防犯については特にないが、気になる場所として児童の見守りが出てくるが、通学する小学生も少なくほとんどあったことがないというのが感想としてある。
- ・特にないが子供の数が減っていて通学している子供を見ない。
- ・通学時の見守る子供をほとんど見ない、親が送り迎えをしている。
- ・意見は出尽くしていると思っているが登下校時の見守りは校門の出入り口等で見守りをやってはどうか。

生活マナー、環境美化、景観、ごみ減量化資源化、地域環境

- ・すぐにできそうなものをピックアップして協議した。福祉、教育であったり、単分野と連携し、幅広くできればよいと思う。
- ・特になし。
- ・環境塾はニュータウン地区との交流をテーマにやってきている。夏祭りは住民同士の交流もさることながら他地区からも多くの人を呼んでやってほしい。
- ・生徒数が減っている。富塚地区でも七小に行っている子供もいてさみしい。藤ヶ谷、自衛隊は保護者が5、6人出て登下校している。ごみ問題も富塚はすごく捨てられていて気になる。かなり道路にかなりごみがある。できれば秋口にごみゼロをやりたい。

伝統文化・福祉・高齢者障がい者支援・地域活性化・外国人との共生・その他

- ・たくさんの項目がある。内容が広いのでやりくることが大変だと思う。
- ・お囃子保存会9人で太鼓の練習をしている。今はコロナでできていないが月1回練習している。練習だけでは何なのでケアホームで祭りのときに行って演奏している。

防犯カメラ

- ・防犯カメラは、不法投棄が多いのでそういう場所につけてもらえるとありがたい。不法投棄について、警察に相談したら地権者がすべてやるように言われシャットアウトされた。話はいろいろ出ているのでこれを連携してやれるとよい。

進め方について・・・折山副センター長説明

- ・ホワイトボードに事業名、実現度、A B C D、意見理由などと書いたものを掲示している。
- ・A B C Dには正の字を記入し、特別な意見等あれば空欄に記載する。
- ・グループで事業数量が異なるので、時間の余ったところは具体的なものも話し合いをしてほしい。

●各グループで事業の実現度について討議

まとめ

交通安全・防犯・防災

分野	取り組み事業名	実現度	A	B	C	D	意見理由
交通安全	①ながら見守り	A	7				1・金がかからずすぐできる。いかに市民に周知するかが課題。地区の会議等での周知PRが必要。センターだよりを使用した周知PR
	②交通安全指導	B	2	4	1		2・児童生徒数が少ない。毎日実施は難しい。期間限定で実施してはどうか。
		C	0	3	4		3・警察の協力が必要。地域での実施は難しい。
		B	2	5			4・まち協としてより、PTAの協力が必要。通学バス、送迎が多い。この辺が難しいところ。
防災	①学校と連携した防災訓練	C	0	2	5		5・すぐには難しく十分な検討が必要
	②防災災害学習会	C	0	2	5		6・検討は必要だが、炊き出しは地区でも可能か
		B	0	7			7・救命講習 AED は地域の消防職員の協力が得られれば可能
	③防災倉庫の確認	A	7				8・現在も実施しておりすぐにできる。
	④マップマニュアルの作成	C	0	1	6		9・防災マップの作成は地域では難しく調査研究が必要
		B	1	3	3		10・自宅でできる防災マニュアルは、家族が連絡がとれないときの集合場所など例を示して
	⑤災害時の援護についての検討	C	0	1	6		11・難しいが必要
防犯	①ながら見守り	A	6	1			12・
	②青色パトロール	A	7				13・青パトは今もやっているのですぐにでもできる
	③こども 110 番の協力者増	B	6	1			14・110 番は P T A との調整が必要で 1 年目からは難しい。
	④空家マップの作成	C	0	1	6		15・調査が必要
	⑤防犯カメラの設置	C	0	1	5	1	16・金がかかるので事業者の協力が得られればできる

生活マナー・環境美化・景観・ごみ減量化資源化・地域環境

分野	取り組み事業名	実現度	A	B	C	D	意見理由
ごみ減量化資源化	①ごみゼロ運動の充実	A	7	2			1・連携したごみゼロ運動 冬場に 1 回行うまちピカは 1 年目からやろう。ごみ拾いまち協作用の PR にもなる。早々にやったほうが良い。ポイ捨てさせない啓発の旗を作っているののでやっといこうという意見があった。
		A	9				2・具体的には今後検討 啓発事業、自宅周辺のごみを拾う活動を徹底してもらおう啓発を考えていきたい。
	②資源回収運動への参加	B C		4	5		3・子ども会、PTA との連携を検討 実現度は B と C の間。子ども会、PTA との兼ね合いもある。以前実施していた。来年検討して 3 年目から実施しようという意気込み
景観環境美化	①花の街道づくり	A		9			4・カンナを先行する。そのあとは紫陽花カンナ、水仙、ヒガンバナなど散策路としてカンナ街道を充実させた活動を行う。道路の邪魔にならない花という意見があった。農免道、新しい進入路〇〇街道という名称をつけごみを捨てられないような環境を作る必要がある。

		B		9			5. 募集は先行する。 景観のいい写真は取り組み実現度A絵の展示は意義を広めながらやる必要があり計画を考えないといけないことからグループとしては実現度B
		B		9			6. 環境塾の活動をベースに 下手賀沼、草刈りが中心で環境塾がやっているが、ボランティアを募って広げていく
		B		9			7. 管理者と相談の上進める。 草刈り、通学路、河原子で具体例があったが民地。地権者に協力してもらえるように。まち協でできることはごみの処理。すでに富塚でやっている。河原子街道は危ないので市への働きかけをしていこう。

3. 伝統文化・福祉・高齢者障がい者支援・地域活性化・住民同士の交流・外国人との共生・その他

分野	取り組み事業名	実現度	A	B	C	D	意見理由
住民同士の交流	①なつまつり	B	1	6			1. R4は公民センターで開催しその後第二小学校で開催。開催にあたってすぐに二小ではなく公民センターで工業団地で行っていたような形で開催し、その後に二小に会場を移して開催
	○ほっこり市・まんぷく広場	B		9			2.
地域活性化	①耕作放棄地活用の研究	C → D		1	8		3. そば 実現度は最初Cだったが話し合いの結果Dとした
	②第二小区カレンダーの作成	A	6	2	1		4. 年度カレンダーを作成するならすぐできる。
	○新規営農者への支援窓口	D			1	8	5.
	○森のアスレチック整備	D			1	8	6.
外国人との共生	○調査	C → D		2	7		7. 外国人との共生は当初Cだったが話し合いを進める中でDとなった。
	○学校会社訪問	C → D		4	5		8. 学校はOK、会社は少し難しい
	○農業体験	C → D			9		9.
	○イベント交流会	B		7	2		10. 国際交流協会を手伝う。お囃子も参加したり、公民センター全体を使って開催おもに国際交流協会、まち協が支援
福祉	○福祉情報センターの設置	C		2	7		11. 情報センターの設置は研究をしっかりとする必要がある。
	○交通機関の確保	C → D		1	5	3	12.
	○障がい者高齢者の就労支援	C → D			8	1	13.
伝統文化	○保存	B	4	5			14.中(全域) 全地区の調査研究
		A	9				15. 神社の環境整備 1つの行事としてやっている。

	B	3	4	2		16. 地域の歴史を伝える方策の研究
○宝物マップの活用	B	7	2			17. できるところから
	A					18. マップ利用のイベント 植物も下調べ、巨木、調査をAとした
	B					19. 草刈り整備

・耕作放棄地、外国人との共生はDとした。

- ・時間がなかったが、いい話し合いができたと思う。
- ・組織作りで今後規約等検討していく。
- ・緊急事態宣言が出されるため8月は7時からの会議は無理なため先に延ばして宣言が明ける9月3日に延期したいと思うとの提案が会長から提案。
→ 会議開催日の延期について了承された。

次回日程

- ・第7回準備会 9月3日（金）午後7時から